



～持続可能な食料システムを支える優れた取組を表彰します～

食料・農業・農村基本法等を踏まえ、農業者・食品事業者・消費者などが連携する「食料システム」の理解促進と、持続可能な食料供給に向けて取り組む企業・団体・個人への表彰制度です。



たとえば、こんな取組が対象です



部門
01

食料の安定供給



国産消費の拡大（原料の国産化転換や、そうした取組への理解醸成）、国内生産・流通基盤の維持、世界の食料需給の安定等

部門
02

食品アクセスの確保



物理的アクセス、経済的アクセス等

部門
03

持続的食料システムの確立



農林漁業者との連携強化、流通の合理化、消費者理解醸成、合理的な価格の形成等

部門
04

スマート農業技術等の開発・普及



農業者・産地等によるスマート農業技術及びその効果を高める新たな生産方式の開発・普及の取組等

部門 01 ～ 04 のうち、特に震災復興の取組（東日本大震災から 15 年、熊本地震から 10 年にあたることなどを踏まえ）、園芸博覧会のテーマに共通する取組（来年の GREEN×EXPO2027 開催に向けて）も積極的に募集します。

応募概要

応募期間

5月25日（月）～7月27日（月）17：00（必着）

応募ページ

ニッポンフードシフト公式ウェブサイト
食と農をつなぐアワード特設ページ

https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2026/aw_connect.html

応募資格

- ニッポンフードシフトの推進パートナーに登録していること
- 過去において当アワードで受賞経験がないこと

表彰の種類

- 農林水産大臣賞（各部門1点以内）
- 大臣官房長賞
- 大臣官房総括審議官（新事業・食品産業）賞
- 輸出・国際局長賞
- 消費・安全局長賞
- 大臣官房技術総括審議官賞

結果発表

10月上旬

食と農をつなぐアワード特設ページにて公開

**NIPPON
FOOD
SHIFT** とは？

消費者・農業者・食品関連事業者・行政が一体となり、「食」の未来について考え、話し合い、行動するための取組です。今こそ、変えるべきは変え、守るべきは守り、新しい挑戦を応援しながら、時代にふさわしい「食」のあり方を一緒に考えてみませんか？

まずは推進パートナー登録から！

現在推進パートナーに登録していなくても、新たにパートナーに登録すれば応募可能です。

登録はこちらから：<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/partner/>



応募のメリット：活動認定証の交付

受賞には至らなかった応募者の皆様にも、概ね1年以上取組が継続して行われており、先進的な特徴を有している等の一定の基準を満たす場合、活動認定証を交付します。

NIPPON
FOOD
SHIFT
公式ウェブサイト
はこちらから



<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/>

ニッポンフードシフト事務局
株式会社 JTB 霞が関事業部

メール：nippon-food-shift03@bsec.jp
〒100-6051 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 23 階

大臣賞受賞の取組例（昨年度）、応募ページ QR などの
より詳しい情報は裏面をご確認ください





01 食料の安定供給

株式会社ちーの
浪江ライスシフト
～リジェネラティブ農業から日本の食を守る～

福島県双葉郡浪江町で耕作放棄地を再生し、AIやドローン等を活用した適所施肥により環境負荷にも配慮し、主食作物である水稻の生産を拡大。



02 食品アクセスの確保

認定 NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン

日本における食アクセス確保のためのフードパントリー活動の開始・拡大と持続可能な運営のための支援

直営拠点で食支援を必要とする個人への直接支援と連携団体や福祉施設への中間支援を実施。また、食の支援ニーズが高い沖縄県において、地元団体と協働でフードパントリーを立ち上げた他、災害時には被災地において支援も実施。

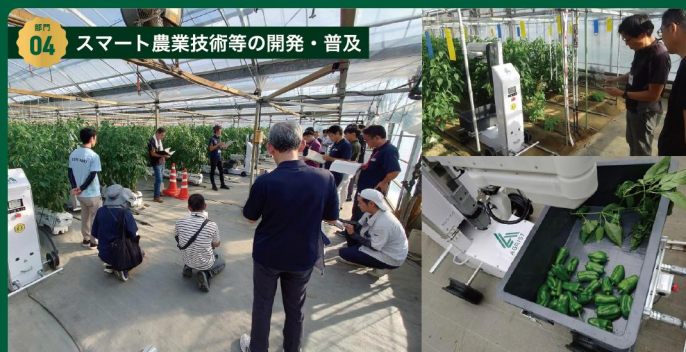


03 持続的食料システムの確立

株式会社グローバルフィッシュ

産地・消費地と一体となった天然鮮魚の持続可能な需給システムの創造

水産物を速やかに衛生処理と酸化を防ぐ処理を施し、供給可能期間を延ばすことで、需要に合わせた通年安定供給を実現するとともに、大量漁獲された際には漁師が不利にならない価格で買い付けを行う。



04 スマート農業技術等の開発・普及

AGRI-ST 株式会社

G7 から始まる官民連携農業プロジェクト創出事業

～自動収穫ロボットの産地導入に向けた官民農業者の連携～

地元生産者、宮崎県農政水産部と連携し、ピーマン収穫ロボットの導入実証を実施。生産者が直接運用することで現場の課題を洗いだし、かつ、ロボットが収穫しやすい方法も分析することにより、ディープテックと農業現場の知見を組み合わせ持続可能な農業モデルを構築。

応募要領

応募期間

応募開始：2026 年 5 月 25 日（月）

応募締切：2026 年 7 月 27 日（月）

審査の観点

先進性・独自性 / 地域性 / 継続性 / 経済性・社会貢献性 / 波及性 / 行動変容への効果

応募資格

- ニッポンフードシフトの推進パートナーに登録していること
- 過去において当アワードで受賞経験がないこと

結果発表

2026 年 10 月上旬予定

表彰式

2026 年 11 月予定



応募ページ

QR コードを読み取って、応募ページにてお申し込みください

https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2026/aw_connect.html



同時募集中のコンテストもご確認ください

FOOD SHIFT セレクション

流通、外食事業者等が審査委員となり、食料・農業・農村基本法の理念に則した優良な産品をコンテスト形式で発掘します。「優秀賞」、「最優秀賞」の産品については、ニッポンフードシフトの取組として紹介します。



**NIPPON
FOOD
SHIFT**

**FOOD
SHIFT**

セレクション

2026

応募期間

2026年
7月27日(月)
まで

食料・農業・農村基本法の
理念に則した
優れた産品を表彰します

**FOOD
SHIFT**

セレクション

2026

流通、外食をはじめ、食品業界等の有識者が審査委員となり、
食料・農業・農村基本法の理念に則した優良な産品をコンテスト形式で発掘します。
受賞産品については、「ニッポンフードシフト」の取組例として紹介します。

対象となる産品

食料の持続的な供給や国産の農林水産物の 積極的な選択に寄与する農林水産物・加工食品等の産品

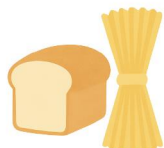
(具体例) 国産素材を主原料とした食品、「〇〇県産〇〇使用」や「契約農家が育てた〇〇を使用」
等を明記した食品など、以下の1から4のいずれかに当たるもの

01

地産地消または国産農林水産物の消費拡大に寄与する
農林水産物・加工食品等の産品



国産野菜のチップス



国産米使用のパンやパスタ など

例：国産素材を主原料とした食品、
「〇〇県産〇〇使用」を明記した食品など

02

みどりの食料システム戦略の推進に寄与する
農林水産物・加工食品等の産品



有機農産物



環境負荷を抑えた養殖魚 など

例：有機農産物、みえるらべる（生産者の環境負荷
低減の取組を星の数で表したラベル）取得農産物など

03

家庭備蓄の市場拡大に寄与する
農林水産物・加工食品等の産品



地元産品や料理の缶詰



フリーズドライ食品 など

例：賞味期限が延長された食品や、
フリーズドライ食品、長期保存が可能な食品など

04

インバウンド消費拡大に寄与する
国産農林水産物・加工食品等の産品



醤油・味噌、調味料



あられやせんべい など

例：外国人に向けたその地域ならではの食品、
地方空港・免税店などで買える“地域発”食品など

**NIPPON
FOOD
SHIFT**

とは？

消費者・農業者・食品関
連事業者・行政が一体と
なり、「食」の未来につい
て考え、話し合い、行動
するための取組です。今
こそ、変えるべきは変え、
守るべきは守り、新しい
挑戦を応援しながら、時
代にふさわしい「食」の
あり方を一緒に考えてみ
ませんか？



NIPPON FOOD SHIFT
公式ウェブサイトはこちらから
<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/>

運営：FOOD SHIFT セレクション事務局
東京都千代田区有楽町 1-1-3 東京宝塚ビル 9F
(株式会社 NKB 内)

応募要件・FOOD SHIFT セレクションの流れなどの
より詳しい情報は裏面をご確認ください





FOOD SHIFT セレクションの流れ



応募期間

2026 年 5 月 25 日（月）～ 2026 年 7 月 27 日（月）

一次審査

書類審査で、応募作品の中から 100 作品を選定

最終審査 9 月～



審査委員による試食審査で、100 作品から、最優秀賞 10 品、優秀賞 90 品を選定

2026 年 10 月上旬～

全応募者に結果通知、受賞作品を FOOD SHIFT セレクションホームページ上で公開

2026 年 11 月

明治安田ホール（東京・丸の内）で開催する表彰式において、受賞作品を表彰



FOOD SHIFT セレクション 入賞特典



最優秀賞 10 作品

「FOOD SHIFT セレクション」最優秀賞ロゴマークを使用いただけます。



優秀賞 90 作品

「FOOD SHIFT セレクション」優秀賞ロゴマークを使用いただけます。

2026 年 11 月、明治安田ホール（東京・丸の内）で開催する表彰式にて表彰いたします。
（※会場までの交通費はご参加者様のご負担となります。）

応募要領

応募期間

応募開始：2026 年 5 月 25 日（月）

応募締切：2026 年 7 月 27 日（月）

審査基準

● 国産活用度 ● ストーリー性 ● 商品力

応募資格

ニッポンフードシフトの推進パートナーに登録していること ★

結果発表

2026 年 10 月予定（全応募者に結果を通知予定）

表彰式

2026 年 11 月予定

応募ページ

QR コードを読み取って、応募ページにてお申し込みください

https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2026/aw_selection.html



★ 現在推進パートナーに登録していなくても、新たにパートナーに登録すれば応募可能です
登録はこちらから：<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/partner/>



同時募集中のアワード・コンテストもご確認ください



同時募集中のコンテストもご確認ください

食と農をつなぐアワード

食料・農業・農村基本法等を踏まえ、農業者・食品事業者・消費者などが連携する「食料システム」の理解促進に向けて取り組む企業・団体等への表彰制度です。



運営：FOOD SHIFT セレクション事務局
東京都千代田区有楽町 1-1-3 東京宝塚ビル 9F
（株式会社 NKB 内）

お問い合わせ

FOOD SHIFT セレクション事務局
電話番号：0120-421-370（平日 10：00～17：00）
メールアドレス：fss2026@e-uketsuke.jp

食から日本を考える。



消費者・生産者・食品関連事業者・行政が一体となり、「食」の未来について考え、話し合い、行動するための取組です。今こそ、変えるべきは変え、守るべきは守り、新しい挑戦を応援しながら、時代にふさわしい「食」のあり方を一緒に考えてみませんか？

情報発信・フェア等を開催し、
消費者に知識・体験を提供

国産農産物の理解醸成
行動変容（フードシフト）



家庭備蓄

食料
自給率



持続的な
食料システム

地産
地消

主な活動のご紹介



食と農をつなぐアワード

「食料システム」の理解促進と、持続可能な食料供給に向けた主体的な取組を促進するための表彰制度です。



FOOD SHIFT セレクション

国産・環境配慮、家庭備蓄、栄養改善、インバウンド対応など、“社会にうれしい”食品を紹介・表彰。



NIPPON FOOD SHIFT FES.

日本の食がかえる課題や目指す未来について、ともに考えるきっかけとなるイベントを開催しています。



食と農をつなぐアワード

普段から使う食品を買い置きし、古いものから消費し、消費した分を買い足すことで備蓄する、「ローリングストック」を始めませんか？



FOOD SHIFT セレクション

国産・地元のサステナブルな食材で、鍋をもっと美味しく、もっと楽しく！私たちの食を取り巻く課題を解決するアイデアが詰まった「サステ鍋」を提案します。



NIPPON FOOD SHIFT FES.

ニッポンフードシフトは、朝ごはんをテーマに日本の食や農について考えるプロジェクトを始めます！

農林水産省

食から日本を考える。



推進パートナー になりませんか？



メリット

ロゴマークの無償利用



公式サイトやnoteでの
事例紹介



関連情報をタイムリーにお届け
イベントへの出展や連携企画も！



条件

ニッポンフードシフトの運動趣旨に共感いただける方であれば、
企業、団体、個人問わず、ご登録いただけます。

登録料、年会費等はございません。

登録



公式サイトよりご登録いただけます。

NIPPON FOOD SHIFT 推進パートナー登録ページ
<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/partner/>



最新情報はNIPPON FOOD SHIFT
公式ウェブサイトをご確認ください

<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/>



【食と農をつなぐアワード 2025 受賞者（中国四国）】

○食品アクセスの確保部門（敬称略）

＜大臣官房長賞＞

株式会社とくし丸

地元スーパーと連携し移動販売を行うとともに、高齢者の見守りや地域の交流も担うことにより地域活性化に貢献。

活動地域：徳島県（全国へ展開中）

＜消費・安全局長賞＞

成田賢一

個人で移動スーパーとフードバンク両者を運営し、食品アクセス確保を実現。

活動地域：岡山県岡山市、吉備中央町など

取組の詳細は、以下の URL からご覧ください。

食と農をつなぐアワード 2025 | 食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT

https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2025/aw_connect_hyosho.html

【フードシフトセレクション 2025 受賞産品（中国四国）】

＜最優秀賞＞

部門〇２：みどりの食料システム戦略の推進に寄与する農林水産物・加工食品等の産品

「南国斉藤牧場の山地酪農牛乳」 有限会社斉藤牧場（高知県）

＜優秀賞（順不同）＞

部門〇１：地産地消または国産農林水産物の消費拡大に寄与する農林水産物・加工食品等の産品

「GOVOICE（ゴボーチェ）」 株式会社あじかん（広島県）

「のどぐろ飯の素」 有限会社ヤマヲ水産（島根県）

「1年かけた四万十の旬でつくるシュトーレン」 カゴノオト（高知県）

「果実なくリーむパン赤ぶどう」 株式会社八天堂ファーム（広島県）

「瀬戸田レモンケーキ島ごころ」 株式会社島ごころ（広島県）

「きざみにんにくオリーブオイル」 株式会社大京（香川県）

「小豆島オリーブの万能ソース」 //

「玄米のおこめん」 株式会社おこめん工房（広島県）

「玄米のおこめんつゆ付セット」 //

「丸大豆とお米でつくったしょうゆ（グルテンフリー）」 有限会社児玉醤油（広島県）

受賞産品については、以下の URL からご覧ください。

FOOD SHIFT セレクション | 食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT

https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2025/aw_selection_award.html